

岐阜高専、グローバルエンジニア育成を目的とした英語キャンプを開催

岐阜高専（伊藤義人校長）は、平成28年12月23日～25日、東海地区5高専（岐阜、鳥羽、鈴鹿、豊田、沼津）が毎年行なっている東海地区留学生交流会と併催し、日本人学生のグローバル意識の涵養を目的とした英語キャンプを実施した。参加した留学生28名の多くはスキー合宿で初めて雪に接し、日本人学生12名、伊藤校長はじめ教職員17名の総勢57名が寝食を共にして親睦を深めた。

キャンプでは、英語での自己紹介、グループ別高山市内観光、英語を使ったレクリエーションなどのアクティビティを通して、留学生と日本人学生が触れ合った。終了後、日本人学生からは「留学を考えており、今回の英語キャンプはそのよい経験を積むことができた」などの感想が寄せられ、留学生交流会に英語キャンプを併催する複合的な効果が確認できた。

岐阜高専では、本キャンプのような既存イベントの活用を通して英語に接する機会を学生に提供し、学生のグローバル意識の涵養、ひいては英語スキルの向上を継続していく予定である。



乗鞍青少年交流の家エントランスでの集合写真